

&lt; 21-04 &gt;

2021年2月

先生各位

## 新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、下記検査項目の受託を開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内申し上げます。

謹白

記

### ■新規受託項目:

- ・ IV型コラーゲン7S(CLEIA)

[項目コード:4075]

### ■新規受託開始日:

2021年 3月 1日(月)受付分より

以上

※ 裏面をご覧ください。

## ●IV型コラーゲン7S(CLEIA)

脂肪肝から発症する肝の線維化は未治療の場合、肝硬変に進展し、1～8%が1年以内に肝がんを発症するといわれています。その主な原因として、ウイルスや飲酒によるものが多いとされてきましたが、近年では飲酒歴を伴わない非アルコール性脂肪肝炎(NASH)や非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)の増加が問題となっています。

従来より、肝線維化や肝硬変の最も有用な診断指標として肝生検が用いられていますが侵襲的で検査リスクもあり、小さな組織片による肝全体の組織像の把握が困難な場合があることも指摘されています。

IV型コラーゲン7Sは非侵襲的な肝線維化指標として有用性が認められている検査です。

正常肝の類洞には基底膜は存在しませんが、肝線維化が進行すると分泌・蓄積され、血中に漏出します。IV型コラーゲンはその基底膜の構成成分ですが、3種類のドメインで成り立っており、その一つであるIV型コラーゲン7SはN末端側の短い非コラーゲン性ドメインでジスルフィド結合を形成しているため、蛋白分解酵素の影響を受けにくく、血中で安定とされています。

また、IV型コラーゲン7Sは肝線維化の早期から血中に認められ、さらに進行度も反映することから肝線維化の早期診断や肝硬変への進展、治療効果のモニタリングや予後判定などにも有用性が認められています。

項目コード	4075
検査項目名	IV型コラーゲン7S(CLEIA)
検査方法	CLEIA
検体材料・検体量	血清 0.5mL [容器番号 : 01番]
保存方法	冷蔵
基準値・単位	4.4 ng/mL 以下
所要日数	2～4日
保険点数	148点* (「D007」血液化学検査「39」IV型コラーゲン・7S)
判断料	144点 (生化学的検査(I)判断料)
報告下限値	1.0 ng/mL 未満
報告上限値	1,200 ng/mL 以上
報告桁数	小数1位、有効3桁
備考	* : 「オートタキシン(ATX)」、「Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGi)」、「プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド(P-Ⅲ-P)」、「IV型コラーゲン」、「IV型コラーゲン・7S」、「ヒアルロン酸」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定。

### <ご案内>

- ・ 項目コードが新規登録となるため、電子カルテ・健診システム等をご利用の際は、お使いのメーカーのサポート窓口へ項目紐付けの依頼をご連絡ください。
- ・ 現行のRIA法[項目コード：1733] も引き続き受託いたします。